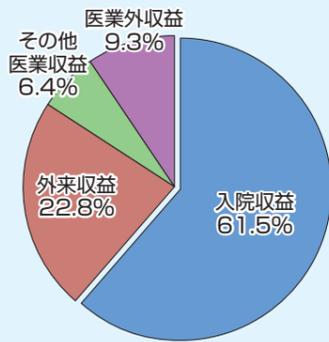


平成28年度 予算及び事業計画の概要



平成28年度
病院事業収益予算
3,520,313千円

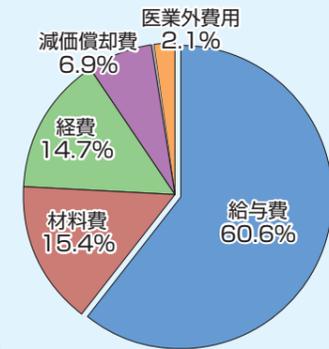
平成28年度予算の報告

平成28年度予算は、収益では昨年度実績に基づく入院・外来収益を見込むとともに、費用については、医師・看護師の確保に必要な給与費を計上する一方、材料費、経費の削減に引き続き取り組むことを予定しています。

その結果、事業収益は35億2千31万3千円、事業費用は34億7千959万1千円とし、当年度純利益を4千72万2千円見込んでおります。

施設設備等の整備として、内視鏡システムや移動型X線撮影装置等の医療機器の更新、また1階トイレの改修工事を予定しております。

業務の予定量	入院	外来
延べ患者数 人	52,505	68,489
1日平均患者数 人	144	253
診療単価 円	41,228	11,741
病床利用率 %	65.4%	—



平成28年度
病院事業費用予算
3,479,591千円

外来診療案内

赤字は女性医師です。 2016年4月現在

診療科	月	火	水	木	金	土	担当医
内科	一診	吉川	上田	上田	上田	吉川	担当医
	二診	塩山	小堤	吉川	堂原	塩山	—
	三診	久保	小川	中谷	金子	小堤	—
	四診	中谷	堂原(肝臓)	鴨門(循環)	—	小川	—
	五診	岡村(循環)	—	—	—	—	—
	午後	—	—	禁煙外来	—	—	—
外科	一診	山田	—	山田	—	—	吉川(10時~)
	二診	明石	杉森	宮尾	明石	杉森	宮尾
	午後	—	東条(消化器)	—	—	—	—
整形外科	一診	吉良	片山	古田	藤谷	古田	担当医
	二診	片山	北條	片山	中村	池田	—
	三診	—	—	—	—	—	—
小児科	一診	阪井	中農	大塚	高川	阪井	担当医
	二診	大塚	高川	佐伯	中農	佐伯	担当医
泌尿器科	吉井	森澤	吉井	吉井	森澤	森澤	
皮膚科	—	小川	—	西村	—	—	
緩和ケア外来(午前)	—	杉森	—	—	—	—	

診療受付時間 初診は午前8:30から午前11:00まで
再診は午前8:00から午前11:00まで

休診日 第2・4土曜日・日曜日・祝日
12月29日~1月3日 年末年始休暇

※受付時間以外の時間帯で診察を希望される場合、お電話にてお問い合わせください。
※担当医は変更となる場合があります。



■近鉄田原本駅・西田原本駅下車、奈良交通バス(西田原本駅西側)利用 約8分
■近鉄黒田駅下車、徒歩約10分

編集発行：国保中央病院(広報誌編集委員会)
発行部数32,000部

国保中央病院 広報誌

Kokuho Central Hospital



目次	◎肝臓外来のご案内..... 1
	◎肝炎の薬について..... 2
	◎肝炎医療費の助成制度について... 2
	◎新看護部長挨拶..... 3
	◎新人看護師の研修風景等..... 3
	◎平成28年度予算について..... 4
	◎外来診療案内..... 4

基本理念 医療の質を高めることにより、地域住民の皆さまの健康保持と増進に寄与し、住民の皆さまに信頼され、愛される心温かな病院を目指します。

肝臓外来のご案内

内科医長 堂原 彰敏

当院内科では、一般内科診療に加えて従来から消化器疾患、特に胆道・膵臓領域と食道、胃、大腸などの消化管領域に関して積極的な内視鏡診断および治療を行ってきました。これらの疾患は比較的症状を有するため、早期発見による早期治療介入が可能である一方で、肝疾患におきましては、症状が乏しく、発見された時には病期が進行していることが多くございました。

そこで、肝疾患患者様の病期が進行する前の早い段階での診断・治療介入を受けることができる、“窓口”・“拠点”になるべく、毎週火曜日に肝疾患を重点的に診療する肝臓外来を開設いたしました。検査や疾患ごとに作成したパンフレットを用いて、疾患の理解を得られるよう診療にあたっております。外来担当医は、内科 堂原彰敏医長(日本消化器病学会専門医、日本肝臓学会専門医)の1名ですが、患者様の疾患の診断や治療方針は、他の内科スタッフ(上田主任部長、吉川部長、塩山医長、

小堤医員、中谷医員、小川医員)や病理診断専門医と行うカンファレンスなどを通じて決定しています。

チーム医療の一環として、医師以外のメディカルスタッフにも協力してもらい、診療を行っています。例を挙げますと、肝疾患の治療には、栄養指導が非常に重要な役割を担っています。肥満、高血圧、糖尿病を背景に発症する脂肪肝に関しては、カロリー制限や運動療法が重要ですし、肝硬変に進みますと蛋白制限や塩分制限が必要となりますので、管理栄養士から栄養指導を行います。次に、肝疾患のお薬は、さまざまな作用点を有し、また服用する際の注意点が多い薬であるため、薬剤師からも種々の説明を行います。

毎週火曜日に予約外来として開設しておりますが、当日に初診外来にお見えになられた肝疾患患者様の対応も行っておりますので、肝疾患に関する相談などでも気軽に受診していただけたら幸いです。

国保中央病院は 川西町 三宅町 田原本町 広陵町 の4町によって設立された自治体病院です。



薬 剤部より



肝炎の薬について (B・C型肝炎を中心に)

肝疾患の薬は肝臓を保護するようなお薬や肝臓が悪い人専用の栄養剤、原因となるウイルスの増殖を抑えるお薬などがあります。その中でもB・C型肝炎のお薬について紹介します。

① インターフェロン製剤 (注射薬。B・C型肝炎治療薬)

1980年代後半から使われているお薬で、単独での治療効果はそれほど高いものではありません。患者様によっては副作用が強く現れることもありました。(現在でも患者様の状態により単独で使用することもあります。)

② 核酸アナログ製剤 (内服薬。B型肝炎治療薬)

インターフェロン製剤単独では治療しきれない患者様がおられたため、B型肝炎ウイルスのDNA合成を阻害するお薬が開発されました。患者様の状態にもよりますがウイルスを減らす作用が強く、副作用もインターフェロンと比較して少ないと言われています。

③ インターフェロンフリー治療 (内服薬。C型肝炎治療薬)

これまでのC型肝炎の内服薬はインターフェロンと一緒に使用する必要がありましたが、最近、インターフェロンを必要としない内服薬が開発されました。治療効果がより優れており、1種類の錠剤を服用するだけでいいお薬もあります。しかし、値段が高価で、1錠8万円もするようなお薬もあります。

肝炎医療費の助成制度について

奈良県では、肝炎の治療に対する医療費の助成制度があります。

1 対象となる疾患

- ① インターフェロン治療 ② 核酸アナログ製剤治療
- ③ インターフェロンフリー治療

2 助成額

インターフェロン治療、並びに核酸アナログ製剤治療、並びにインターフェロンフリー治療にかかる1ヶ月あたりの健康保険適用後の負担額のうち、患者さんの世帯の所得に応じて決定された自己負担限度額(月額)を超える額について助成されます。

※1ヶ月あたり1万円(上位所得階層については2万円)を自己負担限度額として医療費が助成されます。

3 申請手続き

申請窓口は、申請者の住民票のある住所地を管轄する保健所です。

※対象・医療費助成受給に対する認定基準等の制度の詳細については、奈良県のホームページでご確認ください。

看護部長に就任して

看護部長 東岡 美津子



2016年4月1日付けで看護部長に就任いたしました。病院の中でも最も人数が多い150人ほどの看護職をまとめていく立場になり、責任の重さを痛感しております。

私は国保中央病院がこの地に移転して来た平成5年から23年間勤務させていただき、その間に内科・小児科・外科・整形外科の病棟勤務をし、スタッフ、主任、師長、副部長と経験を積ませていただきました。この間病院を取り巻く環境も変わり、患者様の状態も変化しています。高齢化とそれに伴い認知症の方が増えていること、また一人で生活されている高齢の方が増えていることを実感し、入院中だけでなく退院後のことも視野に入れて考えていかないといけないと感じております。

当院が属します東和医療圏では病院から地域へのつなぎ目のない住宅移行ができ、介護が必要な方も安心して病院への入退院と在宅療養ができる環境づくりを目的に、入退院連携マニュアルを策定し、それに基づいて当院も動き出しております。

私たち看護部は患者様が入院中は、理念の基、思いやりの心で接し安心・安全な看護を提供できるように努めたいと思います。そのために研修等で知識や技術の向上に努めてまいります。また退院が近くなると地域のケアマネージャーさんと連携を密にして安心して在宅療養ができるように取り組んでまいりたいと思います。

地域の皆様に頼りにされ、愛される病院であるよう看護部一体となり努力してまいりたいと思います。

新人看護師の紹介・研修風景

国保中央病院では、今年4月に新たに医師1名・看護師3名・作業療法士1名を採用しました。採用となった看護師3名をご紹介します。



辞令交付式の様子



挿管介助(気道確保)



静脈注射の訓練

新人看護師の抱負

H・Yさん
1日1日の学びを大切に、日々勉強していきます。

H・Rさん
何事も諦めず努力し、成長していきます。

G・Tさん
日々学習し、正確に技術・知識を提供できるようにします。